

平成 29 年 2 月 13 日

一般社団法人 日本建築学会九州支部
支部長 黒瀬 重幸 様

熊本市長 大西 一史
(管財課扱い)



熊本市花畑町別館の解体着手について

立春の候、皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より、熊本市政に対しまして、格別のご理解、ご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、皆様からいただいております、本市の花畑町別館の解体着手に対するご要望について回答させていただきます。

花畑町別館につきましては、前回の存続・活用の要望の際にも回答させていただきましたように、建造物の耐震性が劣ること、分散して非効率になっている本庁機能の集約を図る必要があること、さらには、熊本地震による被災に伴い、緊急輸送道路となる沿道の安全確保が必要であること等を総合的に勘案した結果、早期解体に取り組むことが決定しております。

一方で、花畑町別館の歴史的・文化的価値を踏まえまして、市民の皆様の記憶に末永くとどめていただくことができますよう、学識者の意見などを基に、調査報告書の刊行や部材の一部を保存するなど記憶と記録に残す取り組みを進めております。

また、花畑町別館の跡地利用につきましては、震災からの復旧・復興を優先する中、今後の財政状況を考慮しながら、引き続き検討していくこととしており、現在の花畑町別館の意匠等についても継承できないか、併せて、検討していきたいと考えております。

現在、計画どおり、解体工事を始めるための手続きを進めているところであり、皆様方のご要望にお答えすることができず大変恐縮でございますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

本市は、今後とも熊本地震からの早期復旧・復興を目指し、総力をあげて新しいまちづくりの実現に向けて取り組んでまいりますので、皆様には、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。